

保育所に遊びにおいでよ！



◀保育所の子どもたちと保育所開放事業に参加した親子（富士保育所）

～保育所開放事業～

10月3日(水)、幼児のいる家庭を対象に市の各保育所が開放されました。

この保育所開放事業は、保育所の子どもたちと一緒に遊ぶわが子の姿を見ることで、子どもの遊び方や言動を理解し、子育ての参考にしてもらうなど、子育てする親の支援を目的に行われたものです。

この日は、9時30分から11時まで各保育所が開放され、親子150人が参加。年齢にあったクラスや希望するクラスに入って、ブロック遊びや砂遊び、手遊び、粘土遊びなど、親子で楽しい時間を過ごしました。

また、今後の保育所開放事業の充実に向けて、参加した親を対象にアンケートが行われました。

このアンケートには、時間帯や内容については、おおむね良いという意見が多くありましたが、もっと歌や踊りなどの遊びを望む声なども、寄せられました。

市は、この結果を踏まえて、2回目の保育所開放を12月に予定しています。



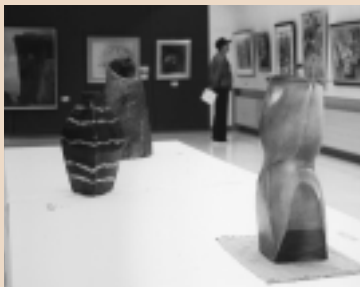
個性豊かな力作ぞろい

～第23回登別美術協会公募展～

10月13日(土)から16日(火)までの4日間、鷺別公民館で『第23回登別美術協会公募展』が開催されました。

市内や室蘭市の絵画の愛好者から応募のあった油彩や水彩、日本画の作品41点の中から、室蘭市の佐藤イツ子さんが描いた『風化する物へ』と題した100号の油彩画が、みごと登別美術協会賞を受賞しました。

この公募展には、応募作品のほか、同協会会員による



陶芸や彫塑などの作品39点が展示され、訪れた方は、作品に近づいたり、離れたりしながら、それぞれの作品の色遣いや筆遣いを見比べながら、ゆっくりと芸術作品を味わっていました。

登別のかあちゃんは、元気！

～第36回かあちゃんオリンピック～

9月20日(木)、『第36回かあちゃんオリンピック』が総合体育館で開かれました。

この『かあちゃんオリンピック』は、日ごろ地域で活動している女性の方の交流と親ぼくを図ろうと、登別市婦人団体連絡協議会が毎年秋に開催しているもので、今年は市内の主婦など約120人が参加しました。

競技種目は、男性の競技役員を女装させながらゴールを目指す『ミス登婦連』や体ほどの大きさのボールをリレーしながら運ぶ『転ばぬように』など、ユニークな競技が行われ、選手のみなさんは歓声と笑い声の中、さわやかな汗を流しました。



札内大地を力走しました

～北海道クロスカントリーレース～

9月16日(日)、札内町のソーシャルグリーンを会場に、『第15回のぼりべつ北海道クロスカントリーレース』（同実行委員会主催）が開催されました。

眼下に太平洋を望み、緑に包まれた札内大地を駆け抜けるクロスカントリーレースは、地元登別をはじめ札幌、帯広などの道内各地や遠くは奈良県などから約170人が参加しました。

この日は、3キロと6キロのコースに年代別・男女別に18種目が設けられ、参加者は色とりどりのランニングウェアなどに身を包み、汗ばむ陽気のなか、最年少の小学1年生から70歳代の男女が、家族や仲間から盛んな声援を受けて札内大地を駆け抜けました。

